

普段の生活に自然の彩りを与える 「つな木」プロジェクト

株式会社日建設計



鋼鉄製のクランプに代わって研究開発中の樹脂製クランプ つな木プロジェクトを進めている「Nikken Wood Lab」の左から大和田さん、大庭さん、中川さん

株式会社日建設計では、持続可能な森林利用の取組の一環として、一般に流通している90mm角や105mm角の無垢材と接合部材（クランプ）、移動用の車輪だけで構築する木材ユニット「つな木」プロジェクトを手がけています。

元々は、社内の新規事業コンペにて提案された「つな木」のアイデア。木材の利用促進が国際的な注目を集めている中、プロの力を借りずに素早く手軽に基本ユニットを組み立てることができるため、オフィス内の打ち合わせスペースや、カフェ・ショップなどの露店、学園祭のブース、また災害時の簡易ルームなど、誰でも屋内外で幅広く活用できます。

現在は、社内プロジェクトチーム「Nikken Wood Lab」を立ち上げ、日々研究開発に取り組んでいます。中でも注力しているのが、軽い樹脂製クランプの開発です。今は鋼鉄製のクランプを使用していますが、樹脂製クランプであれば木材由来であることに加え、さらに手軽に組み立てることが可能になるため、早期の実用化に向けて試行錯誤を繰り返す毎日を送っています。

「つな木」のような個人単位でできる新しい価値観の木材利用が日本の文化として根付くことに林野庁も期待しています。

※無垢材：丸太から切り出したままの自然な状態の木材